

松葉園 ~リハビリ通信~ 平成28年11月号

松葉園では、理学療法士常勤1名体制で、利用者様や入居者さまの身体や生活を支援しています。

今月のリハビリ風景

セラバンドを使った体操です♪

常勤1名体制ですが、利用者様のご要望に答えられるように勤めます。また、楽しんで体を動かして貰えるよう心がけています(市川)



メドマーは気持ちがいいので、大人気です。むくみ解消の効果が期待できます！



リハビリ小話 認知症シリーズ①

今回は、先月開催した認知症サポーター養成講座で好評だった詩を紹介します。作者不明ですが、認知症の方の気持ちを綴ったものです。

年若い私が、ある日、今までの私と違っていたとしても、どうか、そのままの私のことを理解して欲しい。

私が服の上に食べ物をこぼしても、靴ひもを結び忘れても、あなたに色んなことを教えたように、見守ってほしい。

あなたと話すと、同じ話を何度も何度も繰り返しても、その結末を、どうか遮らずに聞いて欲しい。あなたにせがまれて、繰り返し読んだ絵本の温かな結末は、いつでも私の心を平和にしてくれた。

悲しいことではないんだ、消え去って行くように見える私の心へと、励ましの眼差しを向けて欲しい。

楽しいひと時に、私が思わず下着を濡らしてしまったり、お風呂に入るのを嫌がる時には思い出してほしい。あなたを追い返し、何度も着替えさせたり、様々な理由をつけて嫌がるあなたとお風呂に入った懐かしい日のことを。

悲しいことではないんだ、旅立ちの前の準備をしている私に祝福の祈りを捧げて欲しい。

いずれ歯も弱り、飲み込むことさえ出来なくなるかもしれない。足も衰えて、立ち上がる事すら出来なくなったら、あなたがか弱い足で立ち上がろうと私に助けを求めたように、よろめく私に、どうかあなたの手を握らせて欲しい。

私の姿を見て悲しんだり、自分が無力だと思わないで欲しい。あなたを抱きしめる力が無いのを知るのは辛いことだけど、私を理解して支えてくれる心だけを持っていて欲しい。

きっとそれだけで、それだけで私には勇気が湧いてくるのです。あなたの人生の終わりに少しだけ付き添って欲しい。

あなたが生まれてくれたことで、私が受けた多くの喜びと、あなたに対する変わらぬ愛を持って笑顔で答えたい。私の子供たちへ、愛する子供たちへ。

